

岩下壮一「留学日記」を読む

講義概要

岩下壮一（1889～1940）は、大正時代から昭和時代の初めにかけて日本のカトリック教会を代表する人物の一人でした。彼は司祭であり中世哲学の研究者であっただけでなく、カトリック研究社を興して、一般向けのカトリック講座やカトリック書籍の出版を行い、学生寮を設立したり、大学などのカトリック研究会の指導を行い、父親から受け継いだ学校と農園を経営し、ハンセン病施設の院長を務めるなど、多面的な活動をしました。しかし、太平洋戦争前夜に突然帰天したこともあるのか、今ではカトリック教会の中でも知る人は少なくなっていました。

昨年は、岩下壮一がヨーロッパで司祭となってからちょうど100周年でした。これを機会に、あらためて岩下壮一の生涯と業績に関心が高まっています。またこれまで知られていなかった多くの資料が発見されています。本講座では、それらの新たな知見も踏まえて、岩下壮一の誕生から、哲学研究のために留学し、司祭となって帰国するまでの生涯に焦点を合わせます。

講義内容

第1回 4月15日 留学まで（1889年～1919年）

第2回 5月20日 留学の旅とパリ（1919年8月～1920年2月）

第3回 6月17日 司祭への道（1920年秋～1925年6月）

第4回 7月15日 20世紀のフランシスコ・ザビエル（1920年7月～1928年）

◇開講曜日・時間/ 水曜日・15時～16時30分

◇場所/ 真生会館3階ネランホール

◇受講料/ 1,200円（会場、ZOOM同時視聴・見逃し配信、学生証提示で学生無料）



講師 加藤 和哉

（聖心女子大学現代教養学部哲学科教授、同大学キリスト教文化研究所所長）
八ヶ岳南麓在住。大学では西洋中世哲学を専攻し、ドイツ（ミュンヘン）に留学。山口大学勤務を経て、現職。

お問合せ：公益財団法人真生会館 東京都新宿区信濃町33-4 TEL 03-3351-7121/ FAX 03-3358-9700

※3月20日より、HPから受講申し込みが可能となります。 <https://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

2026年春期 岩下壮一「留学日記」を読む 受講申し込み

4月15日

5月20日

6月17日

7月15日

お名前

お電話番号・email

